

## 水稲新品種「クスタマモチ」について

滝田 正・八木忠之<sup>1)</sup>・西山 壽<sup>2)</sup>・日高秀光<sup>3)</sup>・愛甲一郎<sup>4)</sup>・荒砂英人・轟 篤<sup>5)</sup>・  
小八重雅裕<sup>3)</sup>・川口 満・吉田浩一<sup>3)</sup>・藪田豊和<sup>6)</sup>・黒木雄幸<sup>7)</sup>・吉岡秀樹

(宮崎県総合農業試験場・<sup>1)</sup>九州農業試験場・<sup>2)</sup>福岡県農業総合試験場・<sup>3)</sup>宮崎県農蚕園芸課・<sup>4)</sup>宮崎県西部農業改良普及センター  
<sup>5)</sup>宮崎県農業大学校・<sup>6)</sup>宮崎県小林農業改良普及センター・<sup>7)</sup>宮崎県日南農業改良普及センター)

Tadashi TAKITA, Tadashi YAGI, Hisashi NISHIYAMA, Hidemitsu HIDAKA, Ichirou AIKOU, Hideto ARASUNA,  
Atsushi TODOROKI, Masahiro KOBAE, Mitsuru KAWAGUCHI, Kouichi YOSHIDA, Toyokazu SONODA,  
Yukou KUROKI and Hideki YOSHIOKA : A New Rice Cultivar "Kusutamamochi".

水稲新品種「クスタマモチ」は、1994年から長崎県と宮崎県において奨励品種に採用され普及に移された。ここに本品種の育成経過並びに特性概要を報告し、普及の参考に供したい。本品種の育成に関し、種々ご高配をいただいた関係県農業試験研究機関各位に深く謝意を表する。

## 1. 来歴及び育成経過

本品種は1984年に宮崎県総合農業試験場(農林水産省水稲育種指定試験地)において、晩生で良質、強稈、多収目標に「ヒヨクモチ」を母、「南海94号(後のチクゴニシキ)」を父として交配を行い、世代促進、個体選抜、系統選抜を経て、1991年F<sub>6</sub>より「南海糯123号」の系統名を付し、関係県に配付して地方適応性を検討してきたもので、1994年8月「水稲農林糯330号」と登録、「クスタマモチ」と命名された。

## 2. 特性の概要

1) 形態的特性: 「ヒヨクモチ」と比較すると、稈長はやや長いやや短稈であり、穂長はやや短く、穂数は少なく、草型は偏穂数型である。止葉はやや短めで直立し、草姿は優れる。籾は稀に短芒があり、ふ先色は褐色で、ふ色は黄白である。着粒密度は中、脱粒性はやや易である。玄米の粒形・粒大は中で、茶米の発生は少なく、光沢はやや大で、粒揃い、粒張り良く良質で優れる。搗精歩留まりは普通で、餅肌は白く、餅質は同程度に伸びがあり、食味は同程度かやや優れる。

2) 生態的特性: 出穂期・成熟期は「ヒヨクモチ」より2日程遅く、育成地では晩生の晩に属する糯種である。耐倒伏性は「ヒヨクモチ」並みに強い強である。収量は「ヒヨクモチ」より多く、多収性である。いもち病抵抗性遺伝子型はPi-aと推定され、葉いもち・穂いもち抵抗性はやや弱である。白葉枯病抵抗性品種群は金南風群に属し、圃場抵抗性はやや強で、縞葉枯病には罹病性である。

## 3. 奨励品種採用理由

長崎県においては、「サイワイモチ」が平坦部の糯自主米として栽培されてきたが、粒が薄いために米選後の歩留りが劣る問題がある。「クスタマモチ」は「サイワイモチ」より粒厚が厚く、収量性も同等かやや優れ、餅の食味も良いことから、平坦部の「サイワイモチ」とその他の晩生糯種に替えて普及を図る。

宮崎県においては、晩生糯種として「ヒヨクモチ」と「ナンゴクモチ」が普通期水稲地帯に栽培されているが、

「ヒヨクモチ」はやせ地では短稈すぎる問題がある。「ナンゴクモチ」は長稈で倒伏し易く、収量性も不十分であり、ふ先色が無いため稈品種と識別できないことなどの問題がある。「クスタマモチ」は「ナンゴクモチ」よりに耐倒伏性に優れ、ふ先色もある。また「ヒヨクモチ」より多収で、品質と餅質も優れている。今後、普通期晩生糯種の主力とすることにより、良質糯の安定生産が期待できる。

## 4. 栽培上の注意

- 1) いもち病にやや弱いので、常発地での栽培はさけるとともに、その地の地域において、適期防除に留意する。
- 2) 晩生種なので、晩植になり過ぎないように注意する。
- 3) 良質米生産を図るため、適期収穫に留意する。

第1表 クスタマモチの特性概要

形 質		クスタマモチ	ヒヨクモチ
早 晩 生	型	晩生の晩 偏穂数	晩生の早 穂 数
出穂期(月日)		9. 5	9. 3
成熟期(月日)		10. 15	10. 13
稈 長(cm)		69	66
穂 長(cm)		18.5	19.1
穂 数(本/m <sup>2</sup> )		361	366
芒の多少・長短		稀 短	稀 短
ふ 先 色		褐	褐
脱 粒 性		やや易	やや易
耐 倒 伏 性		強	強
葉 い も ち		やや弱	やや弱
穂 い も ち		やや弱	やや弱
白 葉 枯 病		やや強	やや強
縞 葉 枯 病		罹病性	罹病性
玄米重(kg/a)		48.9	46.6
同上標準比率(%)		105	100
玄米千粒重(g)		22.0	22.2
玄 米 品 質		4.0	4.7
食 味		上 下	上 下

注) 育成地における1986~1992年の標準栽培